
シニア世界選手権2015 (3)

フランス・エギュベレット 30/Aug/2015-06/Sep/2015

遠征レポート - 2015年8月26日



エギュベレットのコース。



LW1x 上田選手（明治安田生命）

8/25(月) パラドリュ湖事前練習5日目

昨日より天気は回復しましたが、フランスに来てから1番の冷え込みとなりました。AMプログラムはレースをイメージした500m×4。並べを行っているクルーもありました。水面は少し波があったようですが、レースに向けてスピードを確認できたと思います。

午後には気温が上がり、少し汗ばむくらいになりましたが、既に秋の風が感じられました。プログラムは15km。パラドリュ湖での事前練習も残りあと1日となりました。明日は朝の練習後に積み込みを行い、次の宿のあるエクス=レ=バンに移動する予定です。

8/26(水) エギュベレット到着

本日はAM練習後に積み込みがあるため、6時に自分たちで用意した朝食をとり、8時に水上に出ました。朝のパラドリュ湖は霧がかかっており、幻想的でした。プログラムは60min。

穏やかなコンディションの中でパラドリュ湖での最後の確認をしました。9:00にトレーラーが来るとのことでしたが、なかなか到着しないため、選手は先に宿に戻り、残りのスタッフで積み

込みをすることになりました。9:30ごろトレーラーが到着し、同じクラブハウスで漕いでいたアフリカチームに積み込みを手伝って頂いたおかげで無事艇と物品をトレーラーに載せることができました。キャンプ場を11時に出発し、12時頃には次の宿のあるエクス=レ=バンに到着しました。エクス=レ=バンの宿は街中にあり、便利そうでした。

ホテルで昼食をとり、15時に駅の近くのバス停から会場に向かいました。同じ宿のアメリカ、中国チームが同じ便だったため、総勢180名ほどが3台のバスに乗り込みました。エクス=レ=バンからおよそ30分ほどでエギュベレット湖に到着しました。艇は既に到着しており、順次積み下ろし、会場のリギング場へと運び、リギングをしました。会場には多くのチームが集結しており、非常に混み合っていました。エギュベレットのコースが00レーンから7レーンまでの9レーンもあるため、水上での狭苦しさはあまりありませんでした。会場はほぼ全ての設備が準備完了しており、アップスペースには大量のエルゴとワットバイクが設置されていました。

水上の確認を終えて18:45のバスで宿に帰りました。練習期間中は往路も復路も1時間刻みで予約することができるようでした。明日はエギュベレット湖で2モーション。レース前の雰囲気徐々に近づいてきています。



LW2x 富田選手（明治大学）・大石選手（中部プラントサービス）



上：LM2- 陶山選手（明治安田生命）・小林選手（戸田中央総合病院RC）

下：LM4- 西村選手（NTT東日本）・田立選手（戸田中央総合病院RC）・片岡選手（明治安田生命）・今井選手（NTT東日本）



上：LM2x 中野選手（NTT東日本）・大元選手（アイリスオーヤマ）
下：LM1x 須田選手（アイリスオーヤマ）